

令和元年度 東京都立中野工業高等学校全日制
学校運営連絡協議会実施報告書

1 組織

- (1) 東京都立中野工業高等学校 学校運営連絡協議会（全日制課程）
- (2) 事務局の構成 教務主任＝事務局長、教務部員3名 計4名
- (3) 内部委員の構成
校長、副校長2名、経営企画室長、主幹教諭(教務部担当)、主幹教諭(生徒部担当)、主任教諭（総務部担当）、主任教諭（進路指導担当）、計8名
- (4) 協議委員の構成
PTA会長、同窓会長、近隣中学校長、近隣小学校長、警察生活安全課長、近隣自治会、近隣地域センター関係、近隣企業社長 計8名

2 令和元年度学校運営連絡協議会の概要

- (1) 学校運営連絡協議会（第1～3回）の開催日時、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和元年6月21日（金）内部委員6名、協議委員4名
協議委員委嘱、委員紹介、評価委員の選出
平成31年度学校経営計画、昨年度の学校運営連絡協議会の課題
本校の現状と課題等説明、意見交換
 - 第2回 令和元年11月28日（木）内部委員8名、協議委員7名
これまでの教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議
 - 第3回 令和2年2月28日（金）内部委員8名、協議委員5名
年間の教育活動に関する報告
協議委員からの教育活動に対する意見、学校評価の内容検討、協議、報告
次年度の協議会の日程（概要）確認
- (2) 評価委員会の開催日時、会場、出席者、内容、その他
 - 第1回 令和元年6月21日（金）内部委員3名、協議委員1名
学校評価の基本方針の確認、昨年度の学校評価結果の分析・考察
今年度の学校評価の実施に向けた検討
 - 第3回 令和2年2月28日（金）内部委員3名、協議委員2名
アンケート集計結果の分析・考察、課題の整理、報告内容の確認

3 学校運営連絡協議会による学校評価（学校評価報告）

- (1) 学校評価の観点
「学校への理解」「学校の意欲」「学校の実践」の観点で実施する。
- (2) アンケート調査の実施時期・対象・規模
 - ・1月 全校生徒 351人
 - ・1月 保護者全員 146人
 - ・1月 地域・住民 7人
 - ・1月 教職員 54人
- (3) 主な評価項目
・学校運営、学習指導、生活指導、進路指導、特別活動・部活動、健康・安全、施設・設備
- (4) 評価結果の概要（学校及び校長への意見・提言内容）
 - ・生活指導を強化し、生徒全員がルールを守った安心して学習できる環境にして欲しい。
 - ・依然として、校則違反や授業に積極的に参加しない生徒が散見される。授業規律の確立を徹底して欲しい。
 - ・頭髪検査などに力を入れすぎ、もっとほかのことに力を入れて欲しい。全体的に生活指導が厳しすぎる。
 - ・教員が活発に教育活動できる職場環境を整えて欲しい。校舎の安全性に不安を感じる。薄暗いイメージがあるので、照明を明るくするなど工夫して欲しい。
- (5) 評価結果の分析・考察（学校及び校長への意見・提言）
 - ・生活指導を強化して、安心して学べる学習環境を求める生徒がいる反面、本校での厳しい生

活指導に不満を感じている生徒、保護者もいる。

- ・授業に集中できない生徒がほかの生徒に迷惑をかけている場合がある。そういった生徒に対しては個別指導を行うなどして、教員一人一人が授業規律の確立に向けて取り組む必要がある。
- ・家庭内の問題が原因で学校生活に集中できていない生徒がいる。外部機関とも連携を図りながら、問題を解決し、楽しく学校生活を送れる環境を整えてあげて欲しい。
- ・資格取得への取り組み評価はできるが、情報の伝達が遅すぎるので早めの連絡が欲しい。また、受験希望者が少数でも、積極的に講習を行って欲しい。

4 学校運営連絡協議会の成果と課題（学校の自己評価へ反映）

(1) 学校運営連絡協議会を実施して得られた成果

- ・警察の協議員から特殊詐欺など高校生が関わる犯罪が増えているという情報を得て、SHRなどで度々、生徒への情報提供を行い、犯罪の抑止に役立てている。
- ・毎年、同窓会から講話を行っているが、生徒の反応が気になる。同窓会では、生徒のニーズにあった講師を選任する努力を行っている。
- ・生徒は良くなってきているので、教員は誇りを持って職務を遂行して欲しい。
- ・エンカレッジスクールとして、3年目、手探りの状態で教育活動を行ってきたが、1学年を見る限りその成果は現れている。
- ・学校評価アンケート結果から、体罰や暴言をなくすため積極的に取り組んでいるという姿勢が昨年度より低く、徹底が計れていないという結果になっている。
- ・1学年の学校生活の満足度が高く、多くの生徒がものづくりに興味を持っていることがわかった。本校の特色を丁寧に説明した成果が出た。
- ・今年度も近隣住民から地域の防災拠点として期待されていることがわかった。
- ・下校中の生徒が元気でとても印象が良い。
- ・発表会に積極的に参加し、最優秀賞を受賞している。この活動が全校的に広まれば学校が活性化する。

(2) 学校運営連絡協議会を実施して明らかとなった課題

- ・発表会に参加し、最優秀賞を受賞している。そのことはとても素晴らしいことであるが、このような外部での活動が全校的に広まれば学校はさらに活性化する。
- ・まだまだ、地域との連携が浅く、学校単体での活動に留まっている。地域行事への参加も一部の有志生徒だけでなく、多くの生徒に関わってもらいたい。
- ・様々な事情があることは理解できるが、途中で転退学する生徒が多い。
- ・社会人として必要な基礎学力の定着がまだまだ不十分であることが分かった。
- ・垂れ幕など受賞した賞や成果をもっとアピールする方法を考える必要がある。
- ・今回のコロナ感染拡大など、危機管理の徹底が必要である。

5 学校運営連絡協議会及び学校評価を活用した教育活動の改善事項（学校経営計画へ反映）

(1) 学校運営

- ・学校経営推進部で学校経営計画を戦略的に推進していくための進行管理を行う。
- ・学び直しやきめ細やかな指導により基礎・基本の学力定着を図るとともに、多様な体験学習や特色ある専門教科を通じて、生徒が自らの適性を探し進路を選択させる。
- ・可能性はありながら力を発揮しきれずにいる生徒が、3年間を通して、社会人として必要な基礎・基本を身につけるとともに、ものづくりを通して自己の在り方生き方を見つめ、社会人として自立していく力を培うために、自らの可能性を信じてチャレンジさせる。

(2) 学習指導

- ・アクティブ・ラーニング推進校2年目として沖縄水産高校へ視察に行き、本校の教科横断的な教育課程を見直す上で協力を求めた。教員の相互授業参観を実施することで、組織的に授業力向上と学習指導の改善を進めた。今年度も全教員がICT機器を使った授業を積極的に推進し、さらに使用回数を増やす。
- ・コロナウイルス感染拡大防止の影響で臨時休業となり、3学期は、予定された授業を行うことができなかったが、個別指導は行うことができた。
- ・次年度は学力向上指定校を希望し、有効に進めるよう準備を進めている。

(3) 特別活動

- ・生徒が主体的に体育祭や文化祭などの行事を運営できるように指導していくことで、自主性を育む。
- ・部活動体験を実施した。部活動の加入率は上昇したが、2学期以降、退部する生徒が多く、

定着させるためにはもう一步の努力が必要である。部活動の活動状況に差があり、今年度も夏季休業中に合同合宿を実施したが少人数であった。

(3) 生活指導

- ・教員全員が生徒指導規定を熟知し、学校チーム一体となった指導を確立する。
- ・「あいさつを大事にして職業人としての振る舞いができる生徒」の育成を更に推進し、全教職員一丸となって生活指導の徹底に努める。次年度も継続的に指導は徹底して行う。

(5) 進路指導

- ・入学から卒業後までをワンパッケージ化したキャリア教育の全体計画を周知し、全教員で具現化する。

(6) 健康・安全

- ・家庭とも協力して基本的な生活習慣が身につくように指導していくとともに、セーフティ教室、薬物乱用防止教室等を引き続き実施して、健康な生活が送れるよう指導する。

6 「学校がよくなった」と考える協議委員の割合

(1) 協議委員人数 8人

(2) 学校がよくなったと答えた協議委員の人数

そう思う	多少そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	そうは思わない	分からない	無回答
6	2					

7 職員会議及び企画調整会議への協議委員の参加実績及び成果

なし

8 その他

- ・保護者のアンケート回収率が低い。回収の仕方に検討の必要がある。
- ・協議委員に授業見学の機会を設けられるようにする。

1 自分自身について								
Q01	あなたは中野工業高校に入学して満足していますか。				記	点	評価区分	
Q02	あなたはものを作ることや実験することが好きですか。				1	10	そう思う	
Q03	あなたは学校の教育目標を知っていますか。				2	8	ややそう思う	
Q04	あなたの学校生活は充実していると思いますか。				3	4	あまり思わない	
Q05	2学年からコース別となる本校の特色は、あなたの希望実現や将来を決めるのに役立っていますか。				4	0	そう思わない	
					5	0	わからない	
	傾向表示			得点表示			各コメント	
	自分自身について							
全生徒	在籍生徒数	提出生徒数	提出率	今回	←	前回	昨年度との比較ではさほど大きな変化は見られないものの、全体的にやや下がっている。	
	382人	351人	92%	57点		65点		
	Q1 前年							
	Q2 前年							
	Q3 前年							
	Q4 前年							
	Q5 前年							
	前年							
	全体							
	前年							
0%	50%	100%						
全保護者	お子さんについて						今回	←
	保護者数	提出保護者数	提出率	76点		81点		
	382人	146人	38%					
	Q1 前年							
	Q2 前年							
	Q3 前年							
	Q4 前年							
	Q5 前年							
	前年							
	全体							
前年								
0%	50%	100%						
全教員	生徒について			今回	←	前回	少しであるが、全体的に評価が、上がっている。	
	在籍教員数	提出教員数	提出率	59点		52点		
	56人	54人	96%					
	Q1 前年							
	Q2 前年							
	Q3 前年							
	Q4 前年							
	Q5 前年							
	前年							
	全体							
前年								
0%	50%	100%						
考察	1年生は比較的意識の高い生徒が多いが、2、3年生の意識が低いため、昨年度より全体的に下がっていると思われる。ただ、1年生の結果だけ見れば、説明会等への取組結果の成果と考える。							
	保護者の意見は比較的肯定的であるが、昨年よりは低下している。							

2 先生について

Q06 先生は、互いに協力して日常の教育活動に当たっていると思いますか。	記	点	評価区分
Q07 先生は、授業は分かりやすく、きめ細かく指導をしていると思いますか。	1	10	そう思う
Q08 先生の授業内容は、あなたにとっては興味や関心があるものが多いと思いますか。	2	8	ややそう思う
Q09 先生は、授業内容で分からないことがあれば個別指導を行うなど、学力を身につけることに、熱心に取り組んでいますか。	3	4	あまり思わない
	4	0	そう思わない
Q10 先生は、学校の生活指導についての方針を明確に示していますか。	5	0	わからない

	傾向表示	得点表示	各コメント
全生徒	先生について		
	在籍生徒数	提出生徒数	提出率
	382人	351人	92%
			今回 53点
			<p>1年生は満足度が高いが、2,3年生の満足度が低い。</p>

	傾向表示	得点表示	各コメント
全保護者	先生について		
	保護者数	提出保護者数	提出率
	382人	146人	38%
			今回 61点
			<p>各学年ごとの結果を見る限り、大きな差はない。ただ、全体的に下がっていることについては検証が必要である。</p>

	傾向表示	得点表示	各コメント
全教員	授業について		
	在籍教員数	提出教員数	提出率
	56人	54人	96%
			今回 70点
			<p>質問ごとの意識に大きな変化は見られないが、全体的に評価が下がっていることは、指導する側としては課題である。学校全体の問題として考えていく必要がある。</p>

考察	<p>教員の指導については、生徒の意識が低い結果となった。これは教員側が真摯に受け止め、授業改善や学習指導について改善を検討する必要がある。保護者に関しても、生徒ほどではないが、やや低い現状から考えて、学校に対する期待も含めた希望の結果であると推測できる。</p> <p>教員の結果は、決して低いわけではないが、生徒や保護者の意識をもとに検証していくことが必要である。</p>		
-----------	--	--	--

3 生徒指導について

Q11 基本的な生活習慣を身に付けられるような指導が行われていると思いますか。	記	点	評価区分
Q12 学校の進路指導の方針は明確に示されていると思いますか。	1	10	そう思う
Q13 進路指導について、ガイダンス等が計画的に行われていると思いますか。	2	8	ややそう思う
Q14 就職や進学のため、生徒一人一人の学力を伸ばす授業内容(カリキュラム)となっていると思いますか。	3	4	あまり思わない
	4	0	そう思わない
Q15 学校行事や部活動は、活発だと思いませんか。	5	0	わからない

	傾向表示			得点表示		各コメント
	在籍生徒数	提出生徒数	提出率	今回	前回	
全生徒	生徒指導について					
	382人	351人	92%	51点	←	65点
						昨年度から比べ、全体的に下がった。
	0%	50%	100%			

	傾向表示			得点表示		各コメント
	保護者数	提出保護者数	提出率	今回	前回	
全保護者	生徒指導について					
	382人	146人	38%	61点	←	70点
						昨年度から見てやや下がっている。
	0%	50%	100%			

	傾向表示			得点表示		各コメント
	在籍教員数	提出教員数	提出率	今回	前回	
全教員	生徒指導について					
	56人	54人	96%	56点	←	71点
						昨年度より下がっている。特にQ12、Q13、Q14の下がり方が大きい。
	0%	50%	100%			

考察

生徒、保護者ともに評価は高くなく、生徒の進路実現に向けてもっと学校側の努力が必要であることを示している。教員の結果を見ても、本校の進路指導について低い評価をつけていることより、本校キャリア教育や進路指導をもっと充実していく必要がある。

4 学校生活について

Q16 部活動や学校行事を通して、多様な生活体験ができていますか。	記	点	評価区分
Q17 生徒の健康や安全について指導が適切に行われていると思いますか。	1	10	そう思う
Q18 学校は体罰や暴言をなくすために、積極的に取り組んでいると思いますか。	2	8	ややそう思う
Q19 生徒の抱える様々な悩みに応えられる適切な指導が行われていると思いますか。	3	4	あまり思わない
Q20 施設・設備等はよく整備され充実していると思いますか。	4	0	そう思わない
	5	0	わからない

	傾向表示			得点表示			各コメント
	学校生活について						
	在籍生徒数	提出生徒数	提出率	今回	←	前回	
全生徒	382人	351人	92%	49点	←	62点	昨年度より大きく下がっている。 1年生の結果は昨年度以上の意識があるが2, 3年生の意識が極端に低い。
	Q16 前年	Q17 前年	Q18 前年	Q19 前年	Q20 前年	全体 前年	
	0%	50%	100%	0	50	100	

	傾向表示			得点表示			各コメント
	学校生活について						
	保護者数	提出保護者数	提出率	今回	←	前回	
全保護者	382人	146人	38%	56点	←	70点	保護者の評価結果も大きく下がっている。
	Q16 前年	Q17 前年	Q18 前年	Q19 前年	Q20 前年	全体 前年	
	0%	50%	100%	0	50	100	

	傾向表示			得点表示			各コメント
	学校生活について						
	在籍教員数	提出教員数	提出率	今回	←	前回	
全教員	56人	54人	96%	63点	←	67点	教員の評価は昨年と大きく変わっていない。 施設については、校舎が古く老朽化であるため、やむを得ない部分がある。 来年度以降の質問から外すことも検討が必要。
	Q16 前年	Q17 前年	Q18 前年	Q19 前年	Q20 前年	全体 前年	
	0%	50%	100%	0	50	100	

考察	全体的に部活動や学校行事について、あまり活発に行われていないと感じている生徒、保護者が多い 学校生活について、1年の意識は高いが、2, 3年の意識が低いのが気になる。						
	P04						

5 連絡や説明について

Q21 学校は保護者に対して、積極的に学校の様子等の情報を発信していると思いますか	記	点	評価区分
Q22 学校はライフ・ワーク・バランスの推進に積極的に取り組んでいると思いますか。	1	10	そう思う
Q23 お子さんと学校生活についてよく話していると思いますか。	2	8	ややそう思う
Q24 一日体験入学、学校説明会、授業公開など学校を紹介する機会は充実していると思いますか。	3	4	あまり思わない
	4	0	そう思わない
Q25 本校のホームページは充実していると思いますか。	5	0	わからない

連絡や説明について						Q22が極端に低くなっている。この質問は、昨年度から少し表現を変えたため、このような結果になったと考えられる。それ以外は、やや下がってはいるものの、大きな傾向の変化はない。
保護者数	提出保護者数	提出率	今回	←	前回	
456人	146人	32%	69点		67点	
全保護者						

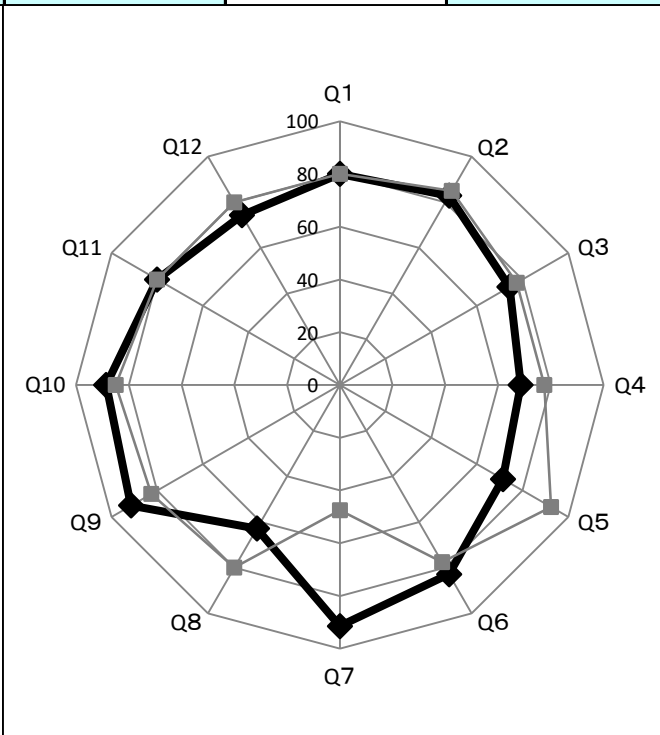
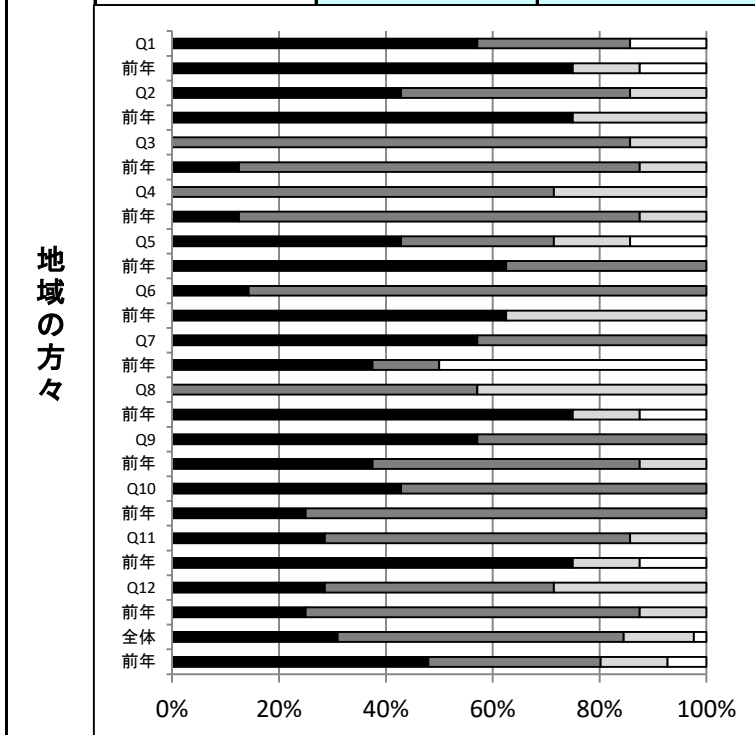
連絡や説明について						Q22の回答結果が低い。Q23の評価が昨年同様低くなっている。
在籍教員数	提出教員数	提出率	今回	←	前回	
51人	54人	106%	61点		73点	
全教員						

考察	Q22は働き方改革について知っていますかという質問であったため、直接比較はできないが、結果として、ライフワークバランスがとれていないという結果であった。
	Q23は保護者と教員との開きが大きい。保護者がある程度生徒とのコミュニケーションをとれていると感じているとしたら教員が何をもってそういう意識であるか、検討が必要である。

6 地域の方々へのアンケート

記	点	評価区分
Q01		
Q02	1	10
Q03	2	8
Q04	3	4
Q05	4	0
Q06	5	0
Q07		
Q08		
Q09		
Q10		
Q11		
Q12		

	傾向表示			得点表示		
	依頼者数	提出者数	提出率	今回	←	前回
	7人	7人	100%	79点		79点



考察

昨年と比べ、Q5とQ8が大きく下がっている、逆にQ7が大きく上がったのは、行事が以前より活発になっていると認められているからだと考える。

7 学校全体が取り組んでいく必要のあること

- 1 学習の強化
 2 生活指導の強化
 3 資格取得
 4 特別活動の活性化
 5 その他

区分	アンケート結果	コメント
生徒	一学年	
	二学年	
	三学年	
	全学年	
保護者	一年保護者	
	二年保護者	
	三年保護者	
	全保護者	
教員		
生徒 保護者 教員 総合計		
考察	生徒、保護者、教員全体で共通する意見は、生活指導の徹底と資格取得が多いことである。 学校生活では、ルールを守れることができるかどうかで続けられるかどうかが大きく関わってくる。 本校の生徒の中には、基本的な生活習慣が身につけていなかったり、ルールを守れない者もいる。 そういった生徒にいかにかちんとした学校生活を送らせるかが大きな課題である。 また、資格取得について、できるだけ多くの生徒にチャレンジしてもらいたいと考えている。そのため の徹底した指導ができるよう環境を整えていくことも重要な課題である。	

